**――――――――――――――――――――――――――――――――――――**

**◆和光大学同窓会第5回総会（2016/11/5）議案書◆**

**◇2016年11月5日（土）13：00～15：00　　和光大学A棟4階第2会議室◇**

**和光大学同窓会会員のみなさまへ**

和光大学同窓会

会長　打越　雅祥

　同窓会はこれまで、作品展「おかがみ」の開催、教職志望学生支援講座の開設と、活動も少しずつ軌道に乗ってきています。会報を発行して卒業生に配布、HPの充実も進めてきました。しかし、同窓会費の徴収にあたっての大学の支えがなかなか進まないこともあり、きちんとした予算を立てての活動が、未だにできない現状です。

大学の危機が叫ばれていますが、和光大学も例外ではなく、入学希望者の減少が続き、経営の危機は幼小中高にもおよび学園全体の問題となっています。このような時、同窓会として学生募集の力になりたいと思っても、具体的な活動を進めがたいのが現状です。

同窓会費の徴収をお願いすると、学費値上げと受け取る　といった後ろ向きのとらえ方ではなく、「大学、学園の存続のために同窓会を積極的に活用する。」という方向に頭を切り替えていただきたいと思います。

和光大学の母体である和光学園が教育界に与えた影響は、とても大きなものがあります。和光学園は戦争協力の反省から、反戦、民主、自由、自律の校風を築いてきました。日本生活教育連盟の本部は和光小学校内にあり、教育研究集会などでの影響も多大なものがありました。

私たちが学んだ大学、学園が存続するためにも、今、同窓会の活動をより活発なものにしていくことが必要と言えます。

財政基盤の確立とともに、今まで進めてきた諸行事を充実させるためにも、次年度の活動の大きな柱として、幹事会、評議員会の役員の増員が欠かせません。この点についても、総会で強くお願いしたいと存じます。

今総会で、より強力な同窓会としていけるよう、ぜひ皆さんのご協力をお願いいたします。

**――――――和光大学同窓会　第5回総会　議案**――――

　　　　　　　　　第一号議案　2016年度事業報告

　　　　　　　　第二号議案　2016年度決算及び、監査報告

　　　　　　　　第三号議案　2017年度事業計画

　　　　　　　　第四号議案　2017年度予算

　　　　　　　　第五号議案　2017年度役員の選出

**第**一**号議案　2016年度事業報告**

1. **第四回総会の開催**

　2015年11月1日（日）11時～12時30分　和光大学A棟4階第2会議室にて開催し、2015年度の活動報告を経て、2016年度の事業計画が承認されました。

　前回の総会での意見交換を基に、学生救済募金と、作品展「おかがみ」は、別会計とした予算となりました。

　活動費としての会費収入が見込めない中、次年度予算案を示すことの困難さは年々増すばかりですが、和光大学では同窓会の規約に沿った形で、入学時に会費を集めることへの理解を得るには、今しばらく時間がかかるようです。気持ちよく会費を納入してもらえる方法と機会を模索しながらの活動となります。

1. **大学との連携**

　2016年4月4日、同窓会担当の樋口弘夫副学長と通算5回目となる懇談を持ち、大学と同窓会の活動について報告し、意見交換しました。

樋口副学長からは、半年かけて議論し、やっと1月に決着にこぎつけた学部学科再編問題に忙殺された様子が語られ、同窓会の会費問題は、議論できる状況になかったとのことです。また、最近は大学進学率50％を超えるという状況の中で、多様な学生が増え、経済環境が厳しい学生も増えているとのことで、大学も新しい対応や取り組みに追われているそうです。樋口副学長は、同窓会費の大学を経由しての納入問題は、十分な全学的なコンセンサスを経ないで、歩き出してしまい、誤解を生んでいるため、提案の方法や内容の再検討をすることによって、誤解を解いて、全学的な議論と同意を得る努力をする必要があるとの認識を示され、学内のコンセンサス醸成のために、大学事務局長と、同窓会とが話し合うことにも言及がありました。

　副学長懇談会を経て、大学事務局長とも、何度か話し合いを持ち、入学試験の合格者への大学の送付物に同窓会案内と会費納入願等の資料を同封するという提案が大学事務局長によって学内になされましたが、同窓会費の納入願いが学費の値上げのように取られてしまうということで、同意を得ることができませんでした。引き続き、樋口副学長、大学事務局長と、連携を取りながら、同窓会費の大学入学時納入実現に向けて努力します。

1. **同窓会の財政**

　設立総会で、和光大学入学時に永年会費2万円を納入してもらうことを決めて、

4年が経過しましたが、入学時の会費徴収が実現していないため、活動費を寄付に頼っている状態です。

　2015年10月に同窓会誌第2号を発行し、大学の協力の下、大学が連絡先を把握している卒業生、旧教職員、現役生に送付し、併せて会費納入のお願いをしました。また、2016年5月には2016年度新入生約700名に、会報の抜き刷りと、同窓会案内を送付し、会費の納入をお願いしました。

その他、児文研50周年の集い、「三橋修先生を偲ぶ会」などに同窓会幹事が参加するのに合わせて、会報と、会費の振込用紙を配布しました。これらの結果、100名前後の方が会費を納入してくださり、ようやく、2017年度の予算が組めているのが現状です。

同窓会のお願いに応えて　会費や、寄付をお寄せいただいた方々に心から感謝します。引き続き、会の財政を支えていただけますよう、お願い申し上げます。

　寄付、会費を集める努力と並行して、大学入学時の会費納入の道を探ることも次期の重要な課題だと認識しています。

1. **卒業式、入学式への参加**

　2016年3月19日に行われた修了証書授与式には同窓会幹事が参加し、祝賀パーティ場に、「祝ご卒業」の横断幕を掲げ、祝賀会会場で新卒業生にインタビューを行いました。

　2016年4月3日に行われた2016年度入学登録式では、会場に盛花を贈りました。

1. **五つの貢献事業**

**5-1.卒業生への貢献**

卒業生への貢献ということでは、同窓会の組織の拡大と充実をはかるためにも、地方組織の確立はとても重要であると考え、同窓会の地方幹事を11人の方に引き受けていただき、会報への寄稿という形でまずは協力をお願いしました。

　さらに地方での活動をすすめていくためにも昨年度、大学事務局に地方在住の卒業生情報についての協力を要請し、了承を得たことを活かした活動を模索中です。

　芸術学科の卒業生による実行委員会を立ち上げ、和光大学同窓会会員資格のある人なら誰でも参加できる**和光大学同窓会作品展第2回「おかがみ」を2015**年10月25日から11月3日まで、和光大学内パレストラ4階展示場にて実施しました。今回は現役生3名の参加も含め、42名の多彩な作品を展示し、好評を博しました。

**5-2大学への貢献・5-3学生への貢献**

私たち卒業生の持っている力を何とか在校生の就職活動などに生かせないか、検討する中で、大学のキャリア支援室との話し合いを経て、昨年ようやく実施した「教員採用に関する学内ガイダンス」をもう少し気軽に参加できる形にした**「教職支援講座」**に取り組みました。

　今年もキャリア支援室の協力をいただいて、学生の昼休み30分間にしぼって3日間、参加した学生の不安や、質問に答える形で、講師を教職経験者の同窓生が勤めました。3日間の参加学生は少なく、広報の仕方など、まだまだ工夫が必要だと痛感しました。

　同塵会時代から続いている**和光大学学生研究助成金への寄付**を行いました。金額は昨年同様10万円としました。

**学生支援募金に**支援をいただいた皆様方にはたいへんありがとうございました。今日、和光大学生の経済状況は厳しさを増しています。親の介護離職や、失業などのかつてはあまり考えられなかったような理由で、最終学年後期の学費が未納の為に除籍になり、大学中退として社会に出て行く学生がいます。せっかく4年生まできているのに残念と思い、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の気持ちで支援のお願いをさせていただいています。学生支援募金を呼び掛けてから2年経ちますが、寄せていただいた額は23人の方から計17万4千円（2016/8/31現在）となりました。

　早速あたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。支援としては、後期の学費相当額約45万円を必要としています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

**5-4.地域への貢献・5-5.社会への貢献**

今年度は取り組めませんでした。

幹事会メンバーの人数から考えると、5つの企画全てを同時に進めるのは無理があり、年次ごとに重点的に取り組む方が着実ではないかと考えます。

1. **同窓会事務局**

　毎週1回事務局長が、同窓会事務室に出向き、大学や、卒業生との連絡、幹事会の活動支援に努めると同時に、副会長から事務局補佐を1人立て、事務局の仕事をシェアしました。

また、幹事会メンバーの中から、HPの整備や更新専門の従事者をお願いしました。

1. **和光学園との連携**

和光学園理事会、和光学園評議委員会に幹事会から代表が参加しました。

1. **広報活動**

　ネット世代と紙媒体世代の両方に同じ比重で発信することをこころがけました。

　ＨＰ：同窓会に寄せられた文章、催し物を掲載しました。作業を幹事メンバーが担い、更新を随時行いました。

　会報：2015年10月中旬にA4版10ページの「同窓会報」第2号を発行し、大学の協力を得て卒業生、旧教職員、在校生等に発送しました。

2015年5月にＡ4版2ページカラー印刷の「同窓会第2号抜き刷り」を発行し新入学生に発送しました。

**9.　　活動日誌**

幹事会　9月・10月・11月・1月・2月・4月・6月・7月・8月　計**９**回

　評議員会　9月　1回

　作品展「おかがみ」実行委員会・和光大学学生研究助成金研究報告会・和光学園同窓会懇親パーティ・和光学園評議会・和光学園理事会に和光大学同窓会代表として幹事が出席。

**第二号議案　2016年度決算及び、監査報告**

※別紙

**第三号議案　2017年度事業計画**

1. 第**5**回総会の開催
2. 入学時永年会費納入実施等へ、大学事務部局と連携して鋭意努力する。
3. 2017年度実施に向けて、五つの貢献事業から下記を重点的に取り組む。

3-1　卒業生：

a)第3回作品展「おかがみ」の開催

b)　地方支部の設立につながる卒業生の集いを大学の協力を得ながら

サポートし実現させる。

c)　教育・福祉関係就業卒業生の集いを大学の協力を得ながらサポートし、

実現させる。

3-2　在校生：

a) 教職志望学生支援講座の実施、卒業生の会社の学内就職説明会への参加、卒業生の会社のインターンシップ制への参加促進。

b) 学生支援募金の継続募集。

c) 和光大学学生研究助成金への寄付。

1. 広報活動の充実

4-1　HP・SNSの充実をはかる。

4-2　会報の年1回の発行。

1. 同窓会役員・事務局体制の強化

5-1同窓会役員（幹事・評議員・会計監査）の増員

5-2作品展「おかがみ」事務局の独立。「おかがみ」口座の開設

　　　幹事会への事業＆会計報告義務あり。

6　.　規約改正について検討する

　　　・検討事項　総会の隔年開催について、他

**第四号議案　2017年度予算**

　※別紙

**第五号議案　役員の選任**

◇幹事一覧（第2期）



◇評議員一覧（第2期）



◇会計監査（第2期）

